授業科目	教職実践演習(中・高)					単位	2
履　　修	選択	関連資格	高一種免(看護)			ナンバリング	NU34127J
開講年次	4	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP5-1		
担当教員	一期﨑　直美、杉谷　修一、新谷　恭明、塚本　美紀、扇谷　恵美子、手嶋　英津子、西丸　月美、太田　かおり						
授業概要	この演習は、これまでの教職課程での学びと教育実習を振り返りながら、教師としての使命感、保護者や地域社会への責任、信頼される学校づくりなどの課題について総合的な理解を深めることで実践力をさらに伸ばす機会となることを意図している。また、教育対象である生徒理解の方法や教師としての専門性を高めるためのリソース活用法などの各テーマについて、グループ学習や討議・発表などの演習形式に沿って学習し教師としての実践的技能と資質・能力の向上を目指す。遠隔授業で実施する場合がある。						
学生が達成すべき行動目標	1. 教職課程での学びを再点検し、自らに残された課題を探ることができる。 2. 教師として求められる資格・能力を具体的に学校場面に結び付けて理解し伸ばすことができる。 3. 信頼される学校づくりに貢献する教師の在り方を理解し具体的な方策を探ることができる。 4. 生徒理解に基づいた教育活動を展開することができる。 5. 授業の計画、実施、評価に関する知識と実践力を伸ばすことができる。 6. 教師として自律的な成長に必要なリソースを探り活用することができる。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	55	25	0	20	100	「その他」は、授業での積極性や貢献度を指す。
知識・理解（DP1-1）								
知識・理解（DP1-2）								
知識・理解（DP1-3）								
知識・理解（DP1-4）								
思考・判断（DP2-1）			55	10			65	
思考・判断（DP2-2）								
関心・意欲（DP3-1）						20	20	
関心・意欲（DP3-2）								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）				15			15	
技能・表現（DP5-2）								
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル
下記のことを、高いレベルで遂行することができる。 1. 教職課程での学びを再点検し、自らに残された課題を探ること。 2 教師として求められる資格・能力を具体的に学校場面に結び付けて理解し伸ばすこと。	1. 教職課程での学びを再点検し、自らに残された課題を探ることができる。 2. 教師として求められる資格・能力を具体的に学校場面に結び付けて理解し伸ばすことができる。

3. 信頼される学校づくりに貢献する教師の在り方を理解し具体的な方策を探ること。 4. 生徒理解に基づいた教育活動を展開すること。 5. 授業の計画、実施、評価に関する知識と実践力を伸ばすこと。 6. 教師として自律的な成長に必要なリソースを探り活用する	3. 信頼される学校づくりに貢献する教師の在り方を理解し具体的な方策を探ることができる。 4. 生徒理解に基づいた教育活動を展開することができる。 5. 授業の計画、実施、評価に関する知識と実践力を伸ばすことができる。 6. 教師として自律的な成長に必要なリソースを探り活用する

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:イントロダクション(全員) これまでの教職課程の学習について振り返り、各自の残された課題を確認する。	演習	演習内容を踏まえて履修カルテを再点検する。	60
2	テーマ:生徒理解の方法(太田) 生徒を理解するための方法について演習を通して理解する。	演習	復習:該当部分の復習	60
3	テーマ:生徒との関係づくり(太田)生徒との信頼関係を構築するためのコミュニケーション技術について学ぶ。	演習	授業内容の定着を図る。	60
4	テーマ:教師にとっての使命感(杉谷) 教師の使命感について各自の考えを整理し、グループで討議を行うことを通じ、教師の使命感を涵養する。	演習	授業内容の定着を図る	60
5	テーマ:家庭や地域、関係機関との連携(外部講師、新谷、一期﨑) 保護者・地域に対する教師の責任とそれを果たす具体的方策について学ぶ。	講義	授業を振り返りレポートを提出する	60
6	テーマ:学校における発達障害(内部講師)近年ますます重要な課題となっている学校現場における発達障害について学ぶ。	講義	授業を振り返りレポートを提出する。	60
7	テーマ:教育実習の再点検(1)討論(太田)教育実習に参加して明らかになった課題について各自グループ内で討議し課題を明確にする。	演習	復習:該当部分の復習	60
8	テーマ:教育実習の再点検(2)発表(太田) 前回討論した各グループの課題を発表すると共に、他グループと意見交換を行う。	演習	復習:該当部分の復習	60
9	テーマ:リソースの活用法と模擬授業(1)(塚本) 教師に求められる専門性を高めるためのリソース活用法について学ぶ。また、模擬授業を行い、各自の課題についてグループ間で討議し、実践力向上に向けた演習を行う。	演習	授業内容の定着を図る。	60
10	テーマ:模擬授業(2)(塚本) 各自の課題についてグループ間で討議し、実践力向上に向けた演習を行う。	演習	復習:該当部分の復習	60
11	テーマ:模擬授業(3)(塚本)各自の課題についてグループ間で討議し、実践力向上に向けた演習を行う。	演習	復習:該当部分の復習	60
12	テーマ:模擬授業(4)(塚本)授業計画・実施・評価に関する自分の課題に基づき、実践力向上に向けた演習を行う。	演習	復習:該当部分の復習	60
13	テーマ:資質能力の向上に向けた課題の確認(全員) 教師として求められる資質能力の向上を図るうえで取り組むべき各自の課題について整理する。	演習	演習内容を踏まえて各自の具体的な取り組みを検討し、次回の演習に臨む。	60

14	テーマ:まとめ(全員) 前回の演習に基づき、グループ討議を通じて資質能力への具体的な取り組みを明らかにし、発表する。	演習	各自の課題解決の取り組みに向けた実践に取りかかる。	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	教職課程で学んできたことを前提に総まとめとしての演習を行う。
テキスト	教科書を用いない。教員が適宜に資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	履修カルテ、教育実習記録簿、その他、授業の中で具体的に指示する。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この演習は、教職課程の最終段階として、これまでの全ての学習や活動の総点検をしながら、実践的技能や能力の向上を目指すものである。履修カルテを活用しながら、教職の関連科目や専門科目と教育実習を各自で振り返り、授業に臨んで欲しい。教員を目指す者には、採用試験に向けた準備のためにも色々と参考になる情報や知識が含まれているので、この授業を大いに活用して欲しい。授業中の教師の説明や解説、意見交換の内容をこまめに記録して役立てることをお勧めする。

達成度評価に関するコメント	演習及び講話後に作成した課題やレポートで主に評価します。発表は、模擬授業や授業中のプレゼンテーションについて評価します。その他、授業における積極性や貢献度、提出物の期日を守ることなどについても評価します。